

大志

山岡中学校だより

令和7年度 9月末号



恵那市山岡町下手向 182-4 Tel 26-6882

思いきり体を動かすと、何か感じるものがある

校長 後藤 琢磨

世界陸上大会、とても興奮し、選手の涙にジーンとききました。

現在 100m走の最高記録は9秒 58、かなり速いですが、他の動物はもっと速いです。チーター、ライオン、熊、身近な犬や猫も人類最高記録より速いです。ただ、動物たちは喜んだり悔しがったりしません。記録やメダルにこだわるのは人間だけです。

私は、そんな悲喜こもごも複雑な感情を抱く人間という生き物がとても好きです。

陸上競技は、走る、跳ぶ、投げるという単純明快な運動でありながら、その奥深さに多くの人が魅了されています。

私は、足の速さなんて生まれもった才能で、努力したって大した成果は上がらないと思っていましたが、それは大きな間違いでした。



スポーツ科学の進歩はすさまじく、短距離でも長距離でも、練習しだいで飛躍的に走力が伸びることが実証されています。となると、あとは本人のやる気とよき指導者との出会いです。

私が中学生の頃、リレーの選手に憧れました。体育祭の選手リレーで疾風のごとく駆け抜ける姿がカッコよく、一番のスターでした。憧れるのをやめられませんでした。

「うらやましいな。来年こそ選手になってやる。」そう誓って3日走り込みましたが、すぐに心が折れ、やめることを誓いました。改めて、努力を続けている人はすごいなと尊敬しました。

さて、体育祭まであとわずかです。嫉妬したり憧れたり泣いたり笑ったりするのが人間です。生徒の心はそれぞれどう動くでしょうか。

